



# Qst Lounge

キューストラウンジ

2025.4.25 [Fri.] 17:30～18:30

## #5 「縄文研究からみた弥生のはじまり ～文化の伝播・受容・拒絶～」

<講演概要>

大陸から稲作農耕が伝播したことを契機に、縄文時代が終わり、弥生時代がはじまりました。  
しかし、縄文時代から弥生時代への移行は、日本列島各地で同時に起こったわけではありません。

西日本に比べて、東日本ではその移行に数百年ほど長い時間を要しています。

なぜ、弥生時代のはじまりにタイムラグがあるのでしょうか？

縄文研究の視点からこの問題について考えてみたいと思います。



講師 ◆ 福永 将大（九州大学総合研究博物館 助教）  
会 ◆ 松坂 俊輝（九州大学数理学研究院 助教）  
場 ◆ 九大蔦屋書店 アートラウンジ  
参加費 ◆ 無料  
定員 ◆ 20名  
主催 ◆ 九州大学社会連携推進室



【お問合せ】 九州大学社会連携推進室

 syarenkei@jimu.kyushu-u.ac.jp

申込みフォーム

 092-802-2301

A circular portrait of Dr. Yoon, a man with dark hair and glasses, wearing a blue and white checkered shirt. He is standing outdoors in front of green foliage. The background of the slide features a light blue and white concentric circle pattern on the left side.

小学生のときに公園で黒曜石を拾ったのがきっかけで、考古学者を夢見ることに。日本はもちろん、モンゴル・イギリス・中国・ロシアで発掘調査をしてきました。前職の九州大学埋蔵文化財調査室では、箱崎キャンパス跡地の発掘調査を担当。最近は縄文時代だけでなく、元寇防塁をはじめ、鎌倉時代～江戸時代の調査研究もしています。



申込みはこちらから！



「Kyushu University VISION 2030」の柱の一つである「社会共創」のビジョンのもと、サイエンスカフェをはじめとした様々な活動に取り組むほか、科学コミュニケーションの実践と場づくりを支援しています。